



THE 内科専門医 問題集 1 [WEB 版付]

総合内科 I・II・III・消化器・
循環器・内分泌・代謝・腎臓

簡泉貴彦、山田悠史=チーフエディター

定価：7,480 円

B5・422 頁/医学書院/2021

[ISBN978-4-260-04333-5]



THE 内科専門医 問題集 2 [WEB 版付]

呼吸器・血液・神経・アレルギー・
膠原病・感染症・救急・集中治療

簡泉貴彦、山田悠史=チーフエディター

定価：7,480 円

B5・462 頁/医学書院/2021

[ISBN978-4-260-04334-2]

“試験対策”を超えて実践的知識を学べる 「日本版 MKSAP」

評者 | 濱口杉大 福島医大教授・総合内科

私の所属部署では抄読会で、米国内科学会が発行する臨床問題集『MKSAP (Medical Knowledge Self-Assessment Program)』を解いて勉強している。その素晴らしさは MKSAP を知るものすべてが実感していることであろう。『THE 内科専門医問題集』を手に取り実際に解いてみると、まさにこれは「日本版 MKSAP」であった。

臨床で使える実践的知識をスマホでどこでも学習できる

構成を見ると、一見、内科専門医試験対策のための問題集と思われるが、問題の質が高く、臨床現場で多く遭遇するポイントに焦点が当たり、まさに実践的な問題集となっている。そのうえ WEB 版がついていてスマートフォンから問題が解け、どこにいても学習することが可能である。

これまでの内科の試験問題集は、「知識」を想起することに焦点が当たっていた。時には、一般内科医として臨床現場であまり遭遇しないような、かなり専門的な知識を問う問題があったりした。そのような知識をつける問題集も必要である一方で、あくまで試験合格のための問題集となってしまう、現場で実践的に使用できるかは疑問である。文法が満点でも英語がうまく使えないことに似ている。

問題を解けば解くほど、ただの内科専門医試験対策の問題集ではないことがわかってくる。編集や執筆をされた先生方の総合内科的能力が極めて高いことがうかがわれる。内科専門医試験対策を超えており、2 冊解き終えたあとには試験対策はもとより、内科臨床の広い範囲の実践的知識が身につくだろう。専攻医だけでなく、すべての内科医にお薦めの 1 冊と考える。

G